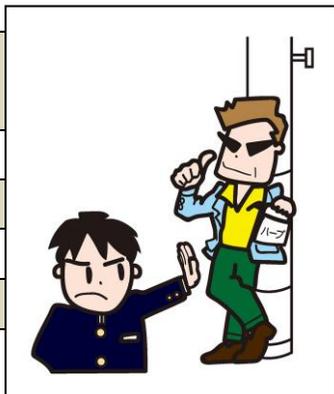


「薬物乱用防止教室を受けて」生徒感想



今日教わった「薬物を誘われた時の断り方」を忘れずに、これから生活していこうと強く思った。

今日の講話をきいて、薬物乱用は身近な医薬品でも起こりうるということを初めて知った。菅原先生の講話は、途中で近くの生徒との話しあい活動がある等、とてもわかりやすかった。

薬物を使うとどのような症状がでるか教えてもらって本当に勉強になった。

薬物依存症になると、一度捕まっても再犯罪する確率が高い(65%以上)ことを知り、とっても驚いた。

薬物を誘われた時は、菅原先生に教えてもらったI(アイ)メッセージで断ろうと思う。

菅原先生の話をきいて、薬物にはなぜ依存性があるのかよくわかった。

医師はその人にあった薬を処方しているので、他に人には絶対にあげてはいけないことを教えてもらってよかった。

今日の授業を受けて「薬物は絶対ダメ」ということを改めて強く思った。

病院でもらった薬も一歩間違えば、危険だということを忘れないで生活しようと思う。

薬物を乱用すると、フラッシュバックや依存性があると教えてもらったので、絶対にしてはいけないと思った。

もし、薬物乱用を誘われた時には、今の自分を大切に、しっかり断る勇気をもてるようにしたい。

普段使う薬でも、クスリにはリスクがあることを知ったので、これからは使い方をよく見て安全に服用しようと思った。

これから、困ったことがあった時は、菅原先生から教わった「まず誰かに相談すること」を忘れずに生活しようと思う。

薬物は1回の使用でも体に悪影響(脳機能障害・肝臓障害・血圧上昇など)を及ぼすことを学んだので、今後、もし誘われても絶対に薬物に手をださないようにしたい。

薬を使うにはたくさんのルールがあって、そのルールをきちんと守って使用することで本来の効果がでることがよくわかった。



【薬物は ダメ。ゼツタイ。】